

2026.8.27

ぐんま森林経営管理サポートセンターメンバーで、甘楽町役場を訪問し、町の経営管理業務の進捗状況確認を確認と、意見交換を実施しました。

甘楽町では意向調査は林班ごとに進めており、向こう5年分の意向調査実施計画は作成されています。

ただ、意向調査実施後の流れが滞りがちであるため、集積計画・配分計画の進捗をふまえ、意向調査実施を調整していく方針であります。

意向調査結果から、町管理事業とすべき林分も出てくるが、そもそも森林環境譲与税交付額が少ないため、実施事業規模が限られてしまうのも悩ましいとのことでした。

限られた予算の活用としては、配分計画による整備を実現したく、そのためには今後の意向調査対象を経営林に絞る必要性を認識しており、経営林判定の精度向上も課題とされています。

甘楽町では、元林野庁林業技師職員の方が地域林政アドバイザーとして活躍されており、経営管理集積計画作成に関連して、共有者不明森林の県による裁定も実施されています。

